

絆
ぎずな

「東日本大震災」支援・横軸連携

平成24、25年度支援事業

わらび座公演「走れメロス」一学期7会場で開催

6月4日、高田一中会場からスタートした沿岸被災地区中学校対象のわらび座公演「走れメロス」は、好評のうちに、一学期7会場で開催された。開催にあたっては、会場づくりなど学校や関係機関からも全面的なご協力をいただき、大成功となった。

6月7日の大槌城山体育館で行われた公演では、県中学校校長会から熊谷雅英会長と中村雅英総務部長が参加をし、大槌中と吉里吉里中の全校生徒に、会長から激励のメッセージも伝えられた。

公演が始まると、わらび座パフォーマンスバンド「響」のメンバーの迫力ある演劇と演奏が繰り広げられ、会場中が引き込まれていった。公演の終わり

には、昨年、全日中から贈られた両校の「絆・復興太鼓」をわらび座のメンバーが力強く演奏。最後は、一緒に写真撮影をするなどの交流もあり、とてもよい時間を過ごすことができた。

公演を見終わった生徒からは「とても感動しました。」「四人でがんばっていてすごい。」「吉里吉里中生徒）、」「勇気や感動をたくさんもらいました。」「とても楽しかったです。」「復興太鼓もかっこよかったです。」「(末崎中生徒)など、たくさんの感想が寄せられている。

二学期には、宮古・河南中と野田中で公演が行われる予定である。



「走れメロス」パンフレット



「絆・復興太鼓」を力強く演奏



大槌城山体育館会場での『走れメロス』公演



公演終了後には、出演者が生徒と握手をして見送り